

やまとの名品 天理図書館

本物...
 天正...
 世...
 大...
 是...
 下...
 乃...
 又...
 乃...

天...
 此...
 乃...
 又...
 乃...
 又...
 乃...
 又...
 乃...

はるさめものがたり
春雨物語(富岡本)

上田秋成自筆
 文化4・5年(1807・8)頃 5軸
 縦26.7cm

上田秋成（一七三四〜一八〇

九）の晩年の著述は自己のおもむくままに書き連ねていますが、幾度となく改稿を重ねて書かれたのが『春雨物語』です。

『春雨物語』は全十篇からなる小説集で、刊行はされず写本で伝わっており、自筆本として完全な形のものはありません。

掲出は文人・画家として有名な富岡鉄斎旧蔵本。「血かたびら」「天津処女」「海賊」「目ひとつの神」「樊噲上」の五篇から成っています。

冒頭の「血かたびら」は「薬子の変」を題材にした話です。善良で気の弱い性格の平城天皇は、自らの讓位をめくり、側

近と弟（後の嵯峨天皇）を推す

勢力との対立に悩み苦しんでいました。早く皇位を譲りたいと思いつつも、側近の藤原仲成とその妹・薬子はそれを拒んで思うようになりません。しかし周りの怪異現象を目の当たりにして、ようやく讓位して平城京に居住する決意をされました。

藤原仲成兄妹は天皇への復位

をもくろみ、反乱を企てたものの嵯峨天皇側に知れ、仲成は斬首、薬子は自害します。掛けてあつた薬子の帷子に降りかかった血のりは乾くこと無く、弓で射ても射抜けず、刀で斬っても刃がこぼれ



無腸居士（上田秋成）肖像

（天理図書館 西林 淳

てしまうのでした。平城上皇は自分が間違っていたと仰せられて、剃髪し仏門に入られました。平安時代初期に起こった史実を扱いますが、今に生きる人々の心情を生き生きと描き出している点に、秋成作品の魅力の一端を見いだすことが出来るのではないのでしょうか。